

## 国際飲食料見本市への出展

アジア最大規模の国際飲食料見本市「Food & Hotel Asia (FHA) -Food & Beverage」が4月23～26日の4日間、シンガポール最大のコンベンション施設であるシンガポールエキスポで開催されました。

FHAには、飲食料業界全般のサプライヤーやバイヤーが集まるFHA-Food & Beverageと、ホテル・レストラン・カフェのホスピタリティ業界に特化したFHA-HoReCaの2つのイベントがあり、前者は毎年4月、後者は毎年10月にシンガポールで開催されています。今回出展したFood & Beverageは、総展示面積6万5,000平方メートル（東京ドームの約1.4倍）という大きな会場に、世界50カ国・地域以上から約1,500社・団体が出展し、昨年よりも約1万人多い、約6万人が来場しました。

石川県は、ジェットロおよび在シンガポール日本大使館が能登半島地震の復興支援として北陸をプロモーションするブースを設置することとなったため、両者と連携し、同ブース内に石川県ブースを設置しました。また隣には、富山県・福井県のブースも設置され、各県が特色ある産品を展示し、三県連携でのプロモーションを行ったほか、復興支援を呼びかけるチラシの配布なども行いました。

石川県からは日本酒や菓子、水産加工品などを展示し、試食・試飲を提供しながら、来場したバイヤーに対して積極的に商品の特徴などを紹介しました。これまでも県産品の販路拡大のため、様々な小売店や飲食店に対して営業を行ってきましたが、どうしても日系の販路が中心となっていたところ、今回の見本市では、多くのローカルのバイヤーがブースを訪れ、これまでとは違った販路へのネットワークを作ることができました。FHAに県として出展するのは初めてでしたので、どの程度反響があるのか不安もありましたが、予想以上に多くの方にブースへお越しいただくことができ、大変有意義な機会となりました。

また、会場内に設置されているセミナーブースにおいて、石川県の日本酒のテイスティングセミナーを実施しました。良質な水や米、寒冷な気候、能登杜氏の熟練の技など、石川県産の日本酒の特徴について講演するとともに、純米大吟醸、にごり、生酛といった異なるタイプの日本酒のテイスティングを行い、本県の日本酒の味を参加した方々に楽しんでいただきました。気に入ったタイプのお酒を買いたいという方や、他のお酒も見てみたいということで石川県ブースを訪ねてきてくださった方もいらっしゃるなど、大変好評を頂きました。

今後は、今回の出展を通じて引き合いのあったバイヤーに対してしっかりとフォローアップを行い、一つでも多く成約に繋げることができるように取り組んでいきたいと思えます。

ちなみに、ジェットロおよび在シンガポール日本大使館の北陸ブースのほかに、日本からは乳製品やお茶、水産加工品など約20社が出展しておりましたが、他国のブースに比べると

非常に少ない印象でした。とはいえ、多くお客様で賑わっているブースもいくつかありましたので、来年度はより多くの事業者さんが出展し、もっと日本ブースが盛り上がれば良いなと感じました。



お客様で賑わう石川県ブース



日本酒テイastingセミナーの様子

## ■伝統工芸品ギャラリーでの石川フェア

シンガポールで日本の伝統工芸品の輸入・販売を行う「HULS」と連携し、3月の下旬に同社のギャラリーにおいて石川フェアを実施しました。

以前の駐在員だよりでもご説明いたしましたが、同社はシンガポールの中心部に立地する2店舗の自社ギャラリーに加え、日系百貨店内にも売場を持ち、漆器や陶磁器などのテーブルウェアを中心に、日本各地の伝統工芸品を多数販売しています。また、レストランやホテルなどへの卸販売においても幅広いネットワークを有するほか、海外の消費者に対して情報発信を行うためのオンラインメディア「KOGEI STANDARD」の運営も行っており、日本の伝統工芸品をシンガポールで広める重要な役割を果たしています。

フェアでは、県のアンテナショップで取り扱う伝統工芸品を販売していただいたほか、能登半島地震の復興支援のため、被害を免れた輪島塗の商品も多数仕入れていただきました。

箸やスプーンといった比較的手ごろな価格の商品が売れ筋でしたが、ボウルやお盆といった商品に関心を持つお客様も多くいらっしゃいました。中には約3000ドルの高額なボウルを購入されるお客様もいらっしゃり、HULSの柴田社長は、「日本に比べ世帯人数も多く、空間にゆとりのある家が多いシンガポールでは、お盆やボウルなどの大きな食器の販売可能性が十分にあることを確認できた」と仰っていました。

こうした取り組みを通じて得られた情報を踏まえ、今後も現地のニーズに合った商品の提案を行い、県産品の販路の拡大に努めていきたいと思っております。



石川フェアの様子